高倉 健、鶴田浩二の大ヒットDVDをあなたも!!

今も感動!! とっておきの大作映画

「思わず涙が出るほど」嬉しいDVD 通信販売でのみお求めになれます！

不思議なことに、日本映画を語るとき、当時大ヒットした超大巨編だったにも拘わらず、その後多くの識者や評論家が、何故か話題にしない名画・傑作があります。

今回お届けする『八甲田山』『聖職の碑』の2作品こそ、その代表例かも知れません。この度の高倉健の訃報に際し、彼の一連の主演作の中に『八甲田山』を発見して感慨に浸ったあなた、今一度、この『八甲田山』『聖職の碑』に感動した記憶と充実感を蘇らせてください。

奇しくもこの2作品は、原作＝新田次郎、監督＝森谷司郎、脚本＝橋本忍、撮影＝木村大作、製作当時のオールスター…さらに創設されたばかりの日本アカデミー賞で多くの賞を獲得しています。

映画史上に惨然と輝くこの二作品を、今一度、あなたの愛蔵版DVDとして、ご家庭で独りじっくりと何度でも見直すのもよし、または、友達と当時を偲びながら語らうのもよし。感動すること請け合いです。この時節、注文が殺到することが予想されます。お申し込みは、お早めにどうぞ。

『聖職の碑』昭和53年（153分、カラー）
監督/森谷司郎、原作/新田次郎、脚本/橋本忍、撮影/木村大作、美術/村木与四郎、音楽/林光
【出演】鶴田浩二、岩下志麻、三浦友和、田中健、中井貴惠、大竹しのぶ、北大路欣也、地井武男、笠智衆、大滝秀治、米倉斉加年、服部マコ

『八甲田山』昭和52年（169分、カラー）
監督/森谷司郎、原作/新田次郎、脚本/橋本忍、製作/橋本忍、野村芳太郎、田中友幸、撮影/木村大作、音楽/芥川也寸志
【出演】高倉健、島田正吾、大滝秀治、丹波哲郎、藤岡琢也、加藤健一、前田吟、北大路欣也、三國連太郎、加山雄三、小林桂樹、神山繁、森田健作、緒形拳、栗原小巻、加賀まりこ、秋吉久美子

先着300名様優先

商品番号 NN2

日本映画の金字塔DVD

■『八甲田山』（特典映像あり）『聖職の碑』
■DVD2枚+1枚
■ドルビーシステム/シネマスコープ
■製作・著作/橋本プロダクション、（株）シナノ企画、東宝映画（株）■発売/（株）スパッツ

●特価 **10,000円**（税別）

1週間以内にお届けします。

お申し込みは、右下の要領でハガキに必要事項をご記入のうえポストへ。お急ぎの方はお電話、またはファックスでどうぞ。●商品はお申し込み受付後1週間以内にお届けします。●代金は、到着時にお支払いできる便利な代引払いでお願いします。※送料は全国一律840円です。●お求めの商品が、万一、お気に召さない場合は8日以内なら交換・返品も承ります。その場合、返送料はご負担ください。（開封後の返品はお受けできません）

※取得した個人情報は本来の目的以外には使用いたしません。

103-0013 東京都中央区日本橋人形町2の4の10 ㈱ベストショップ 日本映画の金字塔 日刊工業係

●商品番号 ●商品名 ①〒住所 ②氏名（フリガナ） ③電話番号（必ずご記入ください） ④年齢・職業（お差し支えなければ）

●お急ぎの方はお電話（フリーダイヤル）で！
0120-818-575（受付時間／午前9時～午後10時）
●ファックス（24時間受付）でもどうぞ！
FAX **03-5649-9758**

株式会社 ベストショップ
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-4-10

日本映画黄金時代の傑作・名作を一挙に揃えたプレミアム全集が、いま、あなたのお手元に!!

今も感動!! とっておきの日本映画

日本映画ここにあり。と云われた、そんな、今も語り継がれる想い出の昭和の名作・傑作を一堂にまとめて届けします。

映画が社会に大きな影響力が持っていた時代、多くの日本人を熱狂させた娯楽大作や、総合芸術として深い感動を与えた文芸作品、スターが一番輝いていた時代の、まさに名作の数々。今も絶賛される映画史にその名を刻む選び抜かれた代表作品が、いま、あなたの目の前で、懐かしくも鮮やかに甦ります。最新の高画質DVDですから何度でも当時の感動を、ご自宅で味わえます。

プレゼントのある、この機会をお見逃しなく、お申し込みください。

1週間以内にお届けします。

お申し込みは、右下の要領でハガキに必要事項をご記入のうえポストへ。お急ぎの方はお電話、またはファックスでどうぞ。●商品はお申し込み受付後1週間以内にお届けします。●代金は、到着時にお支払いできる便利な代引払いでお願いします。※送料は全国一律840円です。●お求めの商品が、万一、お気に召さない場合は8日以内なら交換・返品も承ります。その場合、返送料はご負担ください。（開封後の返品はお受けできません）

※取得した個人情報は本来の目的以外には使用いたしません。

103-0013 東京都中央区日本橋人形町2の4の10 ㈱ベストショップ 日本映画ベスト全集 日刊工業係

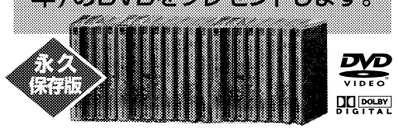
●商品番号 ●商品名 ①〒住所 ②氏名（フリガナ） ③電話番号（必ずご記入ください） ④年齢・職業（お差し支えなければ）

●お急ぎの方はお電話（フリーダイヤル）で！
0120-818-575（受付時間／午前9時～午後10時）
●ファックス（24時間受付）でもどうぞ！
FAX **03-5649-9758**

株式会社 ベストショップ
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-4-10

特典プレゼント贈呈

今回のご注文の方にもれなく、小津安二郎の初期の傑作の誉たかい『戸田家の兄妹』（出演/高峰三枝子、佐分利信・昭和16年）のDVDをプレゼントします。



商品番号 JM4『日本映画ベスト20全集』
●DVD全20巻セット
●ドルビー・ディジタル　■特価 **18,000円**（税別）

商品番号 JM2『懐かしの日本映画ベスト10』■特価10,000円（税別）

『地獄門』 衣笠貞之助監督作品
主演:長谷川一夫、京マチ子1953年（89分）

当時日本映画最高と云われた超大作。豪華絢爛の総天然色（カラー）の大ヒット作品。1954年度のカンヌ国際映画祭のグランプリ受賞作品である。他にも米国アカデミー賞において名誉賞と衣装デザイン賞（和田三造）を、ニューヨーク批評家協会賞において外国映画賞を受賞している。菊池寛の「袈裟の良人」を衣笠貞之助が監督、永田雅一が製作した作品である。平安時代の末期、反乱の最中に出会った人妻（京マチ子）に惚れてしまった男（長谷川一夫）が……

『人情紙風船』 山中貞雄 監督作品
主演:中村翫右衛門、河原崎長十郎1937年（86分）

山中貞雄監督の遺作にして代表作である。江戸時代の長屋を舞台に、住人たちの人間模様を描いた作品。全体的に悲しいトーンで描かれており、厭世的な雰囲気のある作品であるが、長屋の住人達の生き生きとした生活描写や美しく引き締まった構図、観る者をぐんぐんと引き込んでいくストーリー構成など、何度観ても見飽きることの無い作品である。黒澤明「羅生門」小津安二郎「東京物語」に匹敵する傑作であると押す邦画ファンの声も多い、日本映画の傑作である。

『狐の呉れた赤ん坊』 丸根賛太郎監督作品
主演:阪東妻三郎、橘公子1945年（85分）

坂東妻三郎主演の人情時代劇。気が荒く、暴れ者で酒飲みの男がひょんなことから捨て子を育てることになる。最初は厄介がっていたが、育てていくうちに情がわき、やがて酒と博奕と喧嘩から足を洗い、善太と名付けた子供の良き父親になるのだったが…六年後のある日…。坂東妻三郎の表情豊かな生き生きとした演技と、魅力ある脇役達、戦後の何も無かった時代だからこそ丁寧に練り上げられた脚本は今見ても決して古びることは無い。素晴らしい感動作である。

『三万両五十三次』 木村恵吾監督作品
主演:大河内傳次郎、轟夕起子1952年（65分）

幕末、黒船の来襲に揺れる徳川幕府は、京都の公家たちを懐柔するために三万両の黄金を京都に送ることを決定。その大任を任された一介の浪人馬場蔵人は、十六の荷物を馬に積み京都へと旅立つ。しかし、その三万両を狙い、佐幕派志士達や、怪盗牛若小僧と女賊のお蓮が後を追う。さらには蔵人を憎む山際三左衛門も蔵人を追い旅に出るのだった…。大河内傳次郎がひょうたんと名乗るとぼけた男を好演、脇をかためる山際三左衛門や轟夕起子の熱演も注目である。

『丹下左膳』 山中貞雄監督作品
主演:大河内傳次郎、喜代三、、1935年（92分）

林不忘原作の「丹下左膳」は、伊藤大輔・マキノ雅弘などの名監督達により過去にも何度も映画化されているが、同じ大河内傳次郎が主演している丹下左膳シリーズの中で、山中貞雄が監督したこの作品は、それまでのチャンバラ映画から、左膳を中心にした人情喜劇に見事に変貌している。ある小藩に伝わるこけ猿の壺、その壺の中には先祖が隠した百万両のありかが示されていた。

『十六文からす堂』 萩原章監督作品
主演:大友柳太朗、黒川弥太郎1951年（70分）

山手樹一郎の時代小説の映画化。江戸時代、「からす堂」と名乗る易者が助けたお柳は、南部藩の宝を盗んだ安五郎の娘で、安五郎は宝を盗み出した後、誰かに殺されており、お柳は子分達と共に、父を殺した犯人を捜していたのだった。盗んだ宝を売り渡そうとする白覆面と対決するからす堂の正体は…?剣戟スターの大友柳太郎や活劇スターのハヤブサ・ヒデト、お笑いの横山エンタツ、歌手の久保幸江など出演者も多彩。

『七つの顔』 松田定次監督作品
主演:片岡千恵蔵、轟夕起子1946年（81分）

劇場の火事騒ぎの最中、一人の歌手が誘拐され、身に着けていたダイヤのネックレスが奪われるという事件が起こる。ネックレスの持ち主から責任を追及され、追いつめられた歌手の前に現れたのは、多羅尾伴内と名乗る一人の私立探偵であった…。戦後GHQによってチャンバラを禁止された時代劇の大御所、片岡千恵蔵が、刀を二挺拳銃に持ち替え、大ヒットを飾った「多羅尾伴内シリーズ」の記念すべき第一作である。

『安宅家の人々』 久松静児監督作品
主演:船越英二、田中絹代1952年（116分）

毎日新聞に連載された吉屋信子の小説の映画化。水木洋子の脚本により久松静児が監督した作品。時代を超えて人の心に訴えかけるテーマを持った作品である。生まれつきの精神薄弱者だが、美しい心を持つ安宅家の跡継ぎ宗一（船越英二）と結婚した国子（田中絹代）は、夫を補佐して、安宅家を立派に護り通していた。しかし、宗一の異母兄弟である譲二（三橋達也）とその妻（乙羽信子）が同居することになり……

『雪夫人絵図』 溝口健二監督作品
主演:木暮実千代、山村聡1950年（86分）

船橋聖一が「小説新潮」に連載した小説を溝口健二が映画化。旧華族出身の主人公雪（木暮美千代）は、直之（柳永二郎）を婿養子に迎えて結婚するが、直之は女遊びに出歩き財産を食い荒らす放蕩の毎日だった。雪には、心の支えとして、幼馴染の琴の師匠方哉（上原兼）がいたが、直之と離婚して方哉と一緒になる決心はつかなかった。心は方哉を身体は直之を求める女の性を、清純な娘浜子（久我美子）を登場させることによって、それぞれの複雑な関係を描いている。

『武蔵野夫人』 溝口健二監督作品
主演:田中絹代、森雅之1951年（88分）

監督が代わって、演じる役柄が違うとこんなにも別人になりうるのかと改めて田中絹代という女優の凄さを見せ付けられる作品である。小津安二郎監督の「風の中の牝鶏」の常に夫の目を気にしている妻との映画における気品のある妻が同じ人物だとはとても思えない。武蔵野の良家出身の妻(田中絹代)とそれに引け目を感じている夫(森雅之)、妻の義理の弟(片山明彦)、隣に住む親戚の男(山村聡)とその妻(轟夕起子)を中心に展開される人間ドラマ。

商品番号 JRM『感動の日本映画ベスト10』■特価10,000円（税別）

『お茶漬けの味』 小津安二郎監督作品
主演:佐分利信、木暮実千代1952年（115分）

良家出身の妻(木暮実千代)といつも妻に馬鹿にされても自分のやりたいように振舞っている夫(佐分利信)。倦怠期を迎えたこの夫婦を中心に、彼らを取り巻く人々の人間模様を描いた作品である。淡島千景や津島恵子の美貌と共に、女性には、若かりし頃の鶴田浩二が観れるだけでも楽しめる作品かもしれない。題名の「お茶漬けの味」は、主人公の夫が、いつも遅く帰った夜に、女中に作ってもらって食べていた「お茶漬け」を映画のラストで、夫のことを見直した妻が……

『東京物語』 小津安二郎監督作品
主演:笠智衆、東山千栄子1953年（136分）

日本映画を代表する傑作の1本。巨匠・小津安二郎監督が、戦後変わりつつある家族の関係をテーマに人間の生と死までを見つめた深淵なドラマ。故郷の尾道から20年ぶりに東京へ出てきた老夫婦。成人した子どもたちの家を訪ねるが、みなそれぞれの生活に精一杯だった。唯一、戦死した次男の未亡人だけが皮肉にも優しい心遣いを示すのだった…。いまでは失われつつある思いやりや慎ましさといった“日本のこころ”とでもいうべきものを原節子が体現している。

『晩春』 小津安二郎監督作品
主演:笠智衆、原節子、月丘夢路1949年（108分）

「東京物語」と並ぶ小津安二郎監督の代表作で、結婚をめぐる父親と娘を題材にした感動作である。笠智衆と原節子の共演第一作で、鎌倉を舞台に、妻を早くして亡くした大学教授の父と、27歳になってもそんな父親を一人残して嫁に行く気にはなれない娘……。父と娘の親子愛を中心に、二人を取り巻く人々の人間模様を、小津監督独特の手法で、淡々と描き、ラストシーンの京都の宿の、なんとも切ない万感の思い。

『麦秋』 小津安二郎監督作品
主演:原節子、笠智衆、淡島千景1951年（124分）

結婚にあまり興味のない娘と、そんな娘に早く結婚してほしいと気を揉む家族を中心にさりげない日常をユーモアを織り交ぜ淡々と細やかに描く感動作。北鎌倉に住む間宮家では適齢期を過ぎた娘紀子の結婚が何より気がかり。当の紀子は大手の会社で秘書として働き、いまだのんきに独身生活を楽しんでいる風だった。やがて、そんな紀子に縁談話が立て続けに舞い込むのだった……。子供も加わった明るい家庭劇。

『祇園囃子』 溝口健二監督作品
主演:木暮実千代、若尾文子1953年（85分）

日本が世界に誇る映画監督・溝口健二が京都の花街・祇園を舞台に芸妓とそれを取り巻く人々の生態を細部まで徹底的に描き出した人間ドラマの傑作。祇園ではちょっと名の知れた芸妓・美代春の許に、母を亡くしたばかりの少女・栄子が舞妓志願にやってきた。やがて、1年間の舞妓修行を経て、初めて店に出た栄子。ほどなく大会社の御曹司・楠田に見初められる。一方、美代春も楠田の取引先である神崎から言い寄られるのだったが……

『西鶴一代女』 溝口健二監督作品
主演:田中絹代、三船敏郎1952年（137分）

井原西鶴の「好色一代女」をもとに、溝口健二が構成を練り、依田義賢が脚本を書いた「雨月物語」と同じく後世の映画作家達に多大な影響を与えた溝口健二監督作品。1952年度のヴェネチア国際映画祭において、国際賞を受賞している。若くて美しい娘お春(田中絹代)が、転落していく様を、幸せになりかけては、破綻する人生を異常なくらい執拗に鮮明に描ききった溝口健二ならではの傑作である。常に美しく撮られることを求める女優が、醜い顔を晒さなければならないこの作品。

『魔像』 大曾根辰夫監督作品
主演:坂東妻三郎、山田五十鈴1952年（98分）

大曾根辰夫監督作品「魔像」故林不忘の原作を鈴木兵吾が脚色した「大岡政談」ものである。千代田城御蔵番を勤める神尾喬之助は組与頭の戸部近江介に日々陰湿な嫌がらせを受けていた。近江介の懇想していた園絵を喬之介が娶ったことに対する嫉妬と、立場を利用して私服をこやしていることを清廉潔白な喬之介に咎められたことに対する逆恨みの為であった。

『愛妻物語』 新藤兼人監督作品
主演:宇野重吉、乙羽信子1951年（96分）

新藤兼人の監督デビュー作で、妻を病気で失うシナリオライターが主人公の半自伝映画である。映画の中に登場する監督が、新藤兼人の師匠である溝口健二がモデルだと分かるし、貧しいシナリオライターを励まし続ける妻役を乙羽信子が演じているのも興味深い。映画人の気質や時代背景をバックに、何度もシナリオの書き直しを要求する一見非常な監督、夫が一人前のシナリオライターになれるよう陰で支え続ける妻。

『お遊さま』 溝口健二監督作品
主演:田中絹代、乙羽信子1951年（95分）

「細雪」などで著名な谷崎潤一郎文学の映像化であり、京都を舞台にしていることもあって、背景にさりげなく桜並木を配置したりと絢爛豪華な作品でもある。見合いの場で男(堀雄二)が一目ぼれしたのは、見合い相手(乙羽信子)ではなく付き添いの姉(田中絹代)の方だった。それに気づいた妹は、男に形だけの夫婦になることを提案し、結婚するが、それは姉のことを思ってのことだった。やがて、三人で旅行をしたり、仲良く外出をする姿が他人の噂に上がるようになり……

『雨月物語』 溝口健二監督作品
主演:京マチ子、森雅之1953年（97分）

1953年度のヴェネチア国際映画祭で、監督の溝口健二がサン・マルコ銀獅子賞に輝いた作品、小津安二郎監督の「東京物語」と共に、日本映画を代表する作品と称されている。戦国時代、貧しい陶工（森雅之）は妻子（田中絹代）を捨て、美しい女（京マチ子）と暮らし始めるが、その女の正体に気づき、家に逃げ帰ってみると家には眠っている子供と妻が居たが、その妻は…。一方、出世欲から侍になろうとした男（小沢栄太郎）は、女郎に身を落とした妻（水戸光子）に出会い……

限定100セット 稀少価値の高い もう一度見たい!! ベスト日本映画